

So uma vez na vida

みなさん「環境」ということのようなイメージをお持ちですか？
広辞苑によりますと、「自然の美観、特に人間または生物を取り巻く、
相互作用を及ぼしあう外界」と記されています。

「環境」とは、どんなイメージですか？

自然環境は……
自然環境、人間環境、社会環境
を指し、相互に作用する。その中で、
……は指す。



しかし、「環境」といっても、大塚分野も幅広く、本質的なところが
あまり経験できていないのが現状です……。でも、そんな私たちに環境
を考えることのできる環境が求められています！

これまでの研究活動の①

2001年 緑のサイクルマップ 事業への参画



八日市街 緑の回復事業

- ① マイクロゾーンの調査
- ② 市民参加型ワークショップ
- ③ 調査報告書の作成



これまでの研究活動の②

2004年 住民参加型の 公園設計への参画



②「住民参加型の公園設計」
評定後は、新たな役割として「住民参加型の公園設計」に取り組み、
市庁の芝原総合公民館から、各区公園設計に使う「地のある公園」の
設計依頼を受けました。

～市民参加型ワークショップ～

2001年10月20日
2002年10月20日

これまでの研究活動

- 2001年 八日市街 緑の回復事業
- 2002年 緑のサイクルマップ事業
- 2003年 八日市街 緑の回復事業
- 2004年 住民参加型公園設計
- 2005年 八日市街 緑の回復事業
- 2006年 八日市街 緑の回復事業

これまでの研究活動として、
③2001年に緑のサイクルマップ事業の参画
これは、旧八日市街部の市街地帯に於ける広域緑地です。ここは、
ソメイヨシノが約4kmに渡り植栽され、美しい風景を有するこ
とができます。
そこで、2001年8月に、近隣街で実施された「おうち・みどり
2010」の緑化基本構想を現地に投入し、環境型生活様式を事業とし
て取り入れ、「八日市街 緑の回復事業」を計画しました。
内容としては、このような3つの事業に分け、1年をかけて実施し、
以上の成果を2001年3月に、旧八日市街長に報告。翌月には、市公
民にて活動報告会を実施しました。



その結果、「緑の保安活動」が街づくりの核的課題として取り上げら
れました。そして、今年1月に3年を経て、計画案が採択され、このよ
うに実際に街が、緑化されました。



そこで今回、私たちは、これまでの研究活動を振り返り、新たな地域
環境への可能性を探ることを目標に活動することになりました。

今年度の取り組み

1. 各団体の協賛
2. 各団体の協賛の活用
3. 地域住民の協賛の活用
4. 地元企業
5. 地元企業、市民ボランティアの協賛

1学期に於いて、事業完成から住民の意見調査までを取り組んできました。



大プロジェクト

場所：大塚駅前公園
 サイズ：約1000㎡
 内容：公園の整備
 費用：約1300万円

1. 各団体の設計

1. 各団体の設計
 2. 各団体の設計
 3. 各団体の設計



そこで本年度は、これまでの活動の中で、学校から地域の緑化ネットワークを構築し、住民手づくりの「みんなの公園」という意義をもってもらう。そこから「公園」が地域課題を考えた場であるとの位置づけを確立することを設定し、具体的な設計設計から施工までを行いました。そして完成したのが、敷地面積約300㎡、総工費が、なんと！、1300万円の大プロジェクトとなったのです！

1. 各団体の設計

これは、概略計画計画段階を元に、このように工程計画をはじめ、概略設計や土工計画書、くすね石積みやカスケード施工段などのページ数41枚をみんなで手分けして、このような設計図を完成させることができました。



2. 各団体の協賛の活用

各団体の協賛の活用
 各団体の協賛の活用
 各団体の協賛の活用



3. 各団体の協賛の活用

各団体の協賛の活用
 各団体の協賛の活用
 各団体の協賛の活用

4. 各団体の協賛の活用



5. 各団体の協賛の活用



3. 各団体の協賛の活用

各団体の協賛の活用
 各団体の協賛の活用
 各団体の協賛の活用



3. 各団体の協賛の活用

各団体の協賛の活用
 各団体の協賛の活用
 各団体の協賛の活用

団体名	協賛内容	金額	備考
大塚駅前公園	敷地面積	約300㎡	
大塚駅前公園	総工費	約1300万円	
大塚駅前公園	その他		



4 施工事
 いよいよ、昨年11月から施工業者が入り、工事が開始されました。今まで何もなかったこの作業公園に少しずつ、形を整えていく様子をご覧ください。そして、今年4月2日に仕上げとして植栽工事住民の方々と一緒に実施し、完成させることができました。



5 住民アートの実施
 住民アートの実施。最後に意の完成後、アートを実施し、次の段階について意見を聞きました。

「作業公園内にある壁画について」の時には、「満足している」がほぼ90%を占め、力を尽くしたことで子どもや安全面を保障できた等の声も多く聞きました。しかし、壁に錆びずりや汚れ、転倒防止も考えた方がいいという意見もありました。



最後に「今日の植栽作業に参加して」の時には、みんなで作ることで、楽しくて、作業も早く終わることができて良かった。参加することにより、公園に対し愛着ができた。初めてだが、植木や他の緑が素晴らしい、この意見を聞くことができました。

「今後の公園利用について」の時には、夏休みの子供会のイベントとして魚沼の里、小さい子どもにも参加してほしいので、緑が美しいものだと喜んでほしい、などの御意見を頂きました。

そして、その中でも私たちがもっとも喜ばしい意見は、「みんなの公園であるという意識が芽生えた。」というものでした。



「今後の管理について」の時には、今まで通り、子供会による清掃美化活動の実施という意見もありました。しかし、最も多くの意見が「自治会全体での管理する」といったことが住民から取り上げられました。

このことが新聞やテレビで紹介され、また新たな地域から緑化事業の依頼も受けています。

希望
 見るものから思うものへ、
 「思えば山」に心を動かすこと。
 一人ひとりの思いが、このまちを
 変えていく。そして、
今度の秋は、
みんなが笑顔で迎える秋
 実現しよう!

●5 秋
 アンケートの結果から推察してみると、これまで子どもの遊び場の無い街というものは、公園的な自然のものも多く取り上げられました。しかし、今回の取り組みでは「緑地で遊ぶ」という新たな遊園地を確立できたと感じます。
 また、今後の管理室では、自治会を中心に進めたいという地域の方の意欲もあり、「みんなの公園」という私たちが目指していたものが、実現した瞬間でもありました。

●まごめ
 これまで実施してきた、希望出逢いの毎週本講座やワークショップでは、実際に事業として動き出したことにより、「地域から期待され」そして、「期待に応えられた」との思いと同時に責任感や使命感を持つことができました。
 今年度の取り組みでは、当地の人々に「自分たちの公園」という意識がより一層高まることができました。そして、「みんなで作り、利用する公園」の意識を確立できたことにより、これからの地域振興の考え方や取り組みが数多く実行へと進み出されました。

まごめ
 「希望出逢い」は「思えば山」から始まりました。
 「思えば山」は「思えば山」から始まりました。
 「思えば山」は「思えば山」から始まりました。
 「思えば山」は「思えば山」から始まりました。
 「思えば山」は「思えば山」から始まりました。

今後の課題
 地域住民の参加を促すための取り組みを、今後も継続して実施してまいります。



●今後の課題
 今後は、東近江市内にあるひばり公園等の公園施設などの活用もあります。そこで、今回の研究活動の成果に加え、さらに地域住民の意識に対する意識の向上を図り、「地域振興」をテーマとした管理計画案を作成する。そして、私たちが提案したものが身近な「緑」として活用され、地域課題を解消する有効な策となるようにしていきたいと考えています。私の国の言葉で、「so uma vez na vida」(一期一会)。「これからは出会いが大切。一期一会、研究活動を基に進めたい。」



**So uma vez na vida
 (一期一会)**



私たちが提案したものが、
 地域として活用され、
緑地問題-緑地保全
 を考える
有知り場とびらもうこしたさい!



私たちの「ソウマベツ」の言葉で〜
**So uma vez na vida
 (一期一会)**
 これからは出会いが大切で〜

So uma vez na vida
(一期一会)
 一期一会、研究活動を基に進めたい。